

ハタハタ

日本海海域

Arctoscopus japonicus

地方名

かみなりうお



生態

- ①寿命：約5歳。
- ②成熟：オス1歳（全長14cm）以上。
メス2歳（全長21cm）以上。
- ③産卵期・産卵場：11月下旬～翌年1月。
水深2～10mのホンダワラ類の藻場。
- ④分布：北海道沿岸、秋田県男鹿半島を中心とした日本海沿岸、朝鮮半島東部沿岸。
- ⑤生態：水深150～400mの砂泥域に生息。
食性は端脚類、橈脚類、オキアミ類、イカ類。

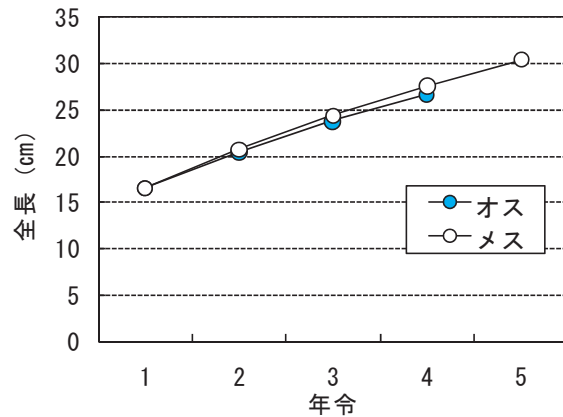


図 日本海海域におけるハタハタの成長

主な漁業

定置網、刺網、底びき網で漁獲。主漁期は11月下旬～12月。2～3歳から漁獲される。

漁獲と資源の動向

昭和40年～50年には1,000トン台の漁獲があったが、52年以降低迷した。平成12年以降増減を繰り返し、20年は日本海で1,362トンと33年ぶりに1,000トンを超えた。22年は21年を下回り、494トンの漁獲であった。

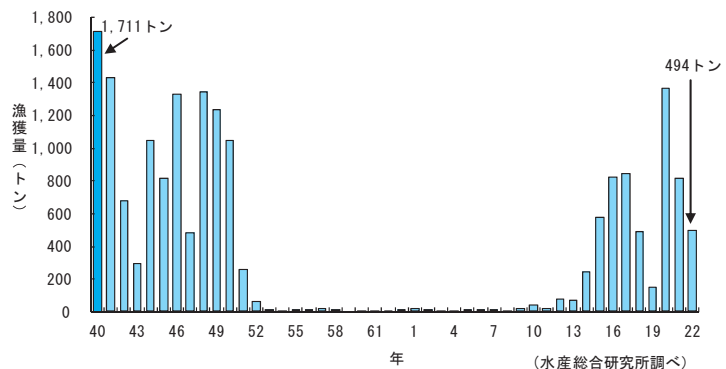


図 青森県日本海海域におけるハタハタの漁獲量の推移

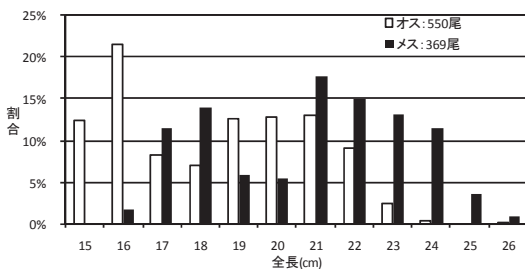


図 ハタハタの全長組成

※平成22年12月に実施した漁獲物測定結果（漁法：定置網）



資源を上手に利用するために

- 北部日本海海域ハタハタ資源管理協定（平成11年4月締結。21年4月更新。）
 - ・底びき網漁業において、全長15cm未満個体の採捕禁止が定められた。
- 日本海北部マガレイ、ハタハタ資源回復計画（平成15年7月）
- ☆上記の取り組みを継続する必要がある。